

質問書に対する回答  
首都圏中央連絡自動車道 横芝光工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図 06 附帯工P22/142	地下排水管のフィルター材の仕様が明記されていません。 材料、仕様等ご教示願います。	共通仕様書5-4に示すとおりです。
2	特記仕様書 44頁	21-17圧密促進工において、表層排水工、ドレーン打設施工に先立ち、基面整正が必要と考えますが、施工基面整正は地盤改良工の改良工A1, A2, B1, B2にて計上するのでしょうか。	特記仕様書21-15(7)に示すとおり、圧密促進工で必要となる基面整正(不陸整正)は地盤改良工に含まれます。
3	設計図 01本線 6頁/80頁、7項/80頁	階段工Aの延長が $15.0m + 9.5m + 23.9m = 48.4m$ となり、数量総括表(39m)と異なります。別途計上されている階段工Aがあれば、ご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
4	特記仕様書 52頁 21-24放流塔工	(6)支払の説明に、"昇降階段の設置"とありますが、設計図等、j交付資料において、昇降階段に関する記載等がございません。設置場所、詳細図等などについて、ご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
5	設計図 06 附帯工 50頁/142頁	矢板材料の防錆処置は必要なしで考えてよいでしょうか。防錆処置が、必要な場合は、仕様についてご教示願います。	矢板材料の防錆処置については、貴社の施工計画に基づきお考えください。
6	設計図 04管渠工	管渠工の基礎材Bについて"砂"と記載がありますが、適用する砂材料の仕様についてご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。

質問書に対する回答  
首都圏中央連絡自動車道 横芝光工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
7	設計図 04管渠工	吐口ます、のみ口ますの材料表に歴青材(m3)がありますが、歴青材の使用箇所が明記されていません。歴青材は目地材のことでしょうか。ご教示願います。	設計図 管渠工 3/26、8/26、13/26、19/26、24/26A部詳細図に示すとおりです。
8	設計図 07附帯工 13/142 重力式擁壁	膨張目地材、収縮目地が杉板となっていますが、防腐処理は必要でしょうか。また杉板の代替えとして歴青目地やエラスタイトの材料を使用することは可能でしょうか。	杉板の防腐処理については、貴社の施工計画に基づきお考えください。また、代替の材料については、現場条件等により監督員が必要と認めた場合、変更可能とお考えください。
9	特記仕様書 P33 簡易舗装工 材料 図面(附帯工)87/142	18-(3)簡易舗装工粒度調整路盤工( $t=5cm$ )の材料について、特記仕様書P33ではC-40、図面(附帯工)87/142ではM-25と記載が異なります。特記仕様書を正しいとしてよろしいでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
10	特記仕様書 P33 簡易舗装工 材料 図面(附帯工)87/142	18-(3)簡易舗装工粒度調整路盤工( $t=40cm$ )の材料について、特記仕様書P33ではC-40、図面(附帯工)87/142ではM-40と記載が異なります。特記仕様書を正しいとしてよろしいでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
11	特記仕様書 P33 簡易舗装工 材料	簡易舗装工 粒度調整路盤工( $t=acm$ )の材料は粒度調整碎石ではなく、特記仕様書の通りクラッシャーラン(C-40)でしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
12	特記仕様書 P33 簡易舗装工 材料	簡易舗装工 再生粒度調整路盤工( $t=acm$ )の材料は粒度調整碎石ではなく、特記仕様書の通り再生クラッシャーラン(RC-40)でしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。

質問書に対する回答  
首都圏中央連絡自動車道 横芝光工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
13	特記仕様書 P33 簡易舗装工 材料	簡易舗装工 再生水硬性粒調整路盤工( $t=acm$ )の材料は粒度調整碎石ではなく、特記仕様書の通り再生クラッシャーラン(RC-40)でしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
14	金抜設計書 B-14頁	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工( $t=4cm$ )の材料は再生密粒度アスコンと考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書17-1(1)に示すとおりです。
15	金抜設計書 B-14頁	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し(TypeA)の数量は、本線部236.6m <sup>2</sup> (図面附帯工130~134/142)と迂回道路部278.84m <sup>2</sup> (図面附帯工137/142)で515.44m <sup>2</sup> ではないでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
16	金抜設計書 B-14頁	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し(TypeB)の数量は、本線部2223.6m <sup>2</sup> (図面附帯工130~134/142)と迂回道路部4481.6m <sup>2</sup> (図面附帯工135~140/142)で6705.2m <sup>2</sup> ではないでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。